

第一三共社オミクロン株 (XBB.1.5) 1価ワクチン【ダイチロナ筋注】の調整・接種と温度管理に関する注意

※12歳以上の追加接種に使用できます。(初回接種は使用不可です。)

⚠ 本剤は凍結を避け、「2～8℃」で保存してください。凍結した場合は使用しないでください。

調製方法

1 使用前に常温に戻します(1箱2バイアル入り)

バイアルを冷蔵庫から取り出し、常温になってから使用してください。

室内照明による曝露を最小限に抑え、直射日光および紫外線が当たらないようにしてください。

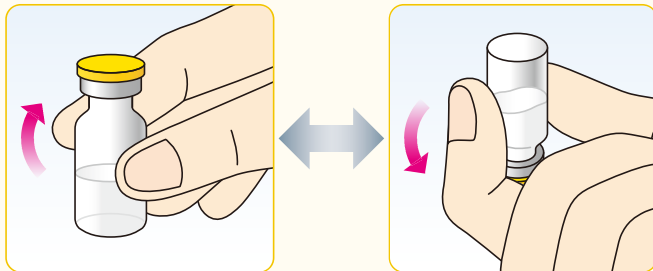
冷蔵庫から取り出してから「12時間以内」に使用してください。1回に限り、再度冷蔵庫に戻し最大で24時間保存することができますが、使用時には冷蔵庫から取り出し常温になってから直ちに使用してください。



本剤1バイアルには、2回接種分(1回量:薬液0.6mL)が含まれます。

2 ゆっくり転倒混和します

白色の均一な液になるまで、ゆっくり転倒混和してください。振り混ぜないでください。



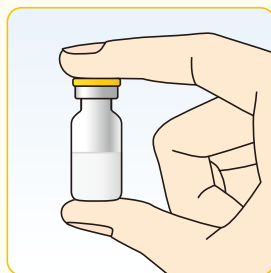
バイアルの上下をゆっくり反転させる(バイアルを縦や横に振らない)

3 薬液を目視で確認します

薬液に変色や異物が認められないこと、その他の異常がないことを目視で確認してください。

異常を認めたバイアルは使用しないでください。

薬液は白濁した液体です。



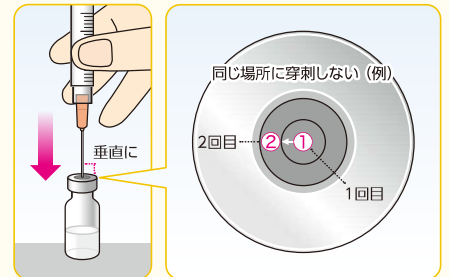
4 バイアルのキャップを外し、ゴム栓・周囲をアルコールで消毒します



5 注射針を垂直に穿刺します

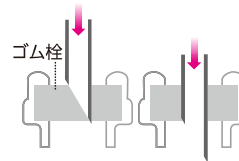
コアリングに注意して、ゴム栓に対し垂直に穿刺してください(斜めに穿刺したり、回転させながら穿刺しない)。2回目の穿刺は、前回と同じ場所を避けてください。

接種用器具は、ガンマ線等により滅菌されたディスポーザブル品を用い、被接種者ごとに取り換えてください。

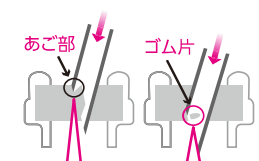


ゴム栓への穿刺方法

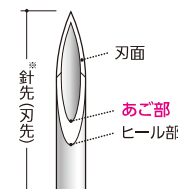
○ 正しい刺し方
(垂直にゆっくり)



✕ 間違った刺し方
(コアリングが発生します)



斜めに注射針を刺すと、針の**あご部**によって**ゴム栓が削り取られます。**



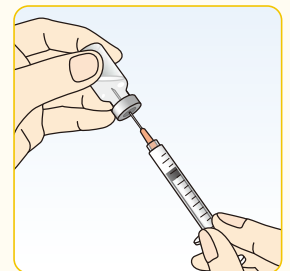
※MTJAPANにおける規格・基準関連用語のあり方 一用語統一のためのガイドライン(第2版)(一般社団法人 日本医療機器テクノロジー協会/MTJAPAN)より

【参考】輸液製剤協議会『「コアリング」に要注意!』
<https://www.yueki.com/pdf/4-15.pdf> (2023年7月12日閲覧)

6 1回量:薬液0.6mLをシリンジに吸引します

追加免疫として、1回量:薬液0.6mLをシリンジに吸引します。

薬液に保存剤は含まれていないので、一度針を刺したバイアルは2～8℃で保存し、24時間以内に使用してください。使用時には冷蔵庫から取り出し、常温になってから直ちに使用してください。



裏面へ続きます



第一三共株式会社



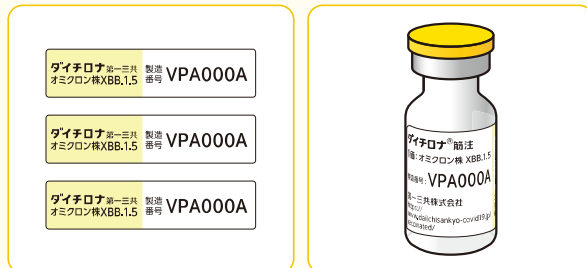
ダイチロナ[®]筋注の 調製・接種と温度管理に関する注意

⚠ 本剤は凍結を避け、「2～8℃」で保存してください。凍結した場合は使用しないでください。

筋肉内への接種方法

1 ロット番号を確認します

ロット番号（製造番号）シールと、バイアルのラベルに記載されているロット番号（製造番号）が一致していることを確認してください。



2 通常、上腕三角筋に筋肉内接種します

静脈内、皮内、皮下へ接種せず、筋肉内へ接種してください。
注射針の先端が血管内に入っていないことを確かめてください。
組織・神経等への影響を避けるため、下記の点に注意してください。

- 針長は筋肉内接種に足る長さで、神経、血管、骨等の筋肉下組織に到達しないよう、被接種者ごとに適切な針長を決定してください。
- 神経走行部位を避けてください。
- 注射針を刺入したとき、激痛の訴えや血液の逆流がみられた場合は直ちに針を抜き、部位をかえて注射してください。

【参考】厚生労働省 YouTube
「医療従事者のための新型コロナウイルスワクチンを安全に接種するための注意とポイント」
<https://www.youtube.com/watch?v=rcEVMi2OtCY> (2023年7月12日視聴)

上腕三角筋への接種 イメージ図



温度管理

薬液調製の際、

- 冷蔵庫から取り出し、常温になってから使用してください。
- 冷蔵庫から取り出してから、「12時間以内」に使用してください。
- 1回に限り、再度冷蔵庫で最大で24時間保存することができますが、使用時には常温になってから使用してください。
- 一度針を刺したバイアルは2～8℃で保存し、24時間以内に使用してください。

使用時には冷蔵庫から取り出し、常温になってから直ちに使用してください。

外箱開封後は遮光して保存してください。

本剤は凍結を避け、凍結した場合は使用しないでください。

薬液調製時の温度管理と保存時間、光への対応

	温度	保存時間	光
保存時	2～8℃	バイアルに印字されている有効年月日まで	遮光
薬液調製時	常温	12時間以内	—
バイアル穿刺後	2～8℃	24時間以内	遮光



製造販売元（文献請求先及び問い合わせ先を含む）

第一三共株式会社
東京都中央区日本橋本町3-5-1